

統計

□西班牙國產出鑛石に就て(一九一六年度)

同國一九一六年度に於ける主要鑛石并に金屬產出高は左表の通りにして比較に便せん爲め一九一五年度のものを附記せり。

品名	一九一六年度噸	一九一五年度噸
無煙炭	二六八、〇八七	二二二、六二一
有煙炭	四、八四七、四七五	四、一三五、九一九
褐炭	四七三、一〇六	三二八、二一三
骸炭	七七七、二七六	六三二、一一一
練炭	五五五、九七五	五五五、三五七
鐵鑛石	五、八五六、八六一	五、六一七、八三九
煉鐵鋼	三六三、七八四	一三二、二一八
鐵及鋼 ルーン ゴット 及 ア 其他	八二〇、六五七	八二七、一四九
銅鑛石	二五、一八〇	二三、〇六八
銅鑛石	三二、八八〇	三四、六九九
銅インゴット ブリス ター 其他	二六〇、二八三	二八五、二六六
鉛鑛石	一四七、四〇六	一七一、四七三
鉛鑛石	一六六、〇五三	八一、九二二
亞鉛鑛石	八、五二三	八、一一七
錫	八六	一〇二
オルフラム	四五五	五一一
滿俺鑛	一四、一七八	一四、三二八
黃鐵鑛	九五三、六七九	七三〇、五六八
含銅黃鐵鑛	一、七四八、七四二	一、四六四、三五〇

統計

黃銅鑛

二、〇〇一

□伊太利ゼノア港に於ける本年一月—六月に至る輸入高。同港に關し統計局に於て發表せられたる統計表によれば次表に示せるものは本年上半期同港に於ける重要輸入物の内に數へられたりと云ふ。

品名	噸	品名	噸
石炭	九四八、二〇九	塊鉛	二三、一一八
鋼鐵 ブレ ット 及 ブル ーム	五二、二七五	錫及亞鉛	一四、一二九
屑鐵	一二〇、七九〇	銅	二七、一〇九
銑鐵	一二六、七六六	金屬製作品	貳參七、四八七

昨年度上半期に於ける統計は記載しあらさりし。

□南亞弗利加に於ける鋼鐵の產出(一九一六年)

南亞弗利加連合鋼鐵組合發表統計に従へば同地に於ける一九一六年度の產出は次の通りにして工場擴張の結果本年度に於ける產出は概して増加せらるゝならんと豫想せらる。

品目	噸	品目	噸
インゴット	四、六五〇	建築用材	四五〇
輕便軌條	一、六三五	普通商品用鋼	二、四一七

□印度に於ける鋼鐵の產出(一九一六年)

英國鐵鋼同業組合團の統計報告によれば印度に於ける平爐鹽基性鎔鋼の產出は一九一六年十三萬一千九十二噸、一九一五年十萬三千四百七十四噸、一九一四年六萬六千六百三噸なりしと云ふ。一九一六年及一九一五年に於けるブルーム、ピレット及加工鋼の產出は次表の通りなりと云ふ。

一二五一

鐵と鋼 第參年 第拾壹號

品目	一九一五年 噸	一九一六年 噸
ブルームス、ピレット	—	二、一五六
軌條	一五、七八〇	三五、〇九二
輕軌條	九五三	一、四九八
スリパー及フラシプレート	四三二	二、二一七
鋼、丁鋼及鋼其他	五、八八一	一二、六八〇
桁	二八、四八一	二五、二四七
商用鋼	—	一四、一四九
其他	一七、一〇七	四二五
合計	六八、六三四	九三、四六九

□瑞典國に於ける銑鐵の産額(一九一六年)

同國駐在英國總領事、エツチ、ダブルユー、ハリス氏の報告によれば一九一六年に於ける同國銑鐵産出高は七十三萬七千噸にして一九一三年同上七十三萬噸なりしと云ふ。

□北米合衆國製鋼會社に於ける銑鐵製造高(一九一七年)

同國各製鋼會社より製造せられたる銑鐵は本年上半期に於て合計一千三百四十三萬八千九百五十噸にして昨年上半期は一千三百八十二萬一千百三十八噸なりしと云ふ。但し上記重量中には硅素鐵及滿俺鐵の産出も含有すと云ふ。

□西班牙に於ける輸出入(本年上半期)

同國稅關局當事者により發行せられたる官報に依れば本年一月より六月に至る半ケ年間に於ける輸出入高を昨年と同期間に於ける輸出入と比較すれば次表の通りなりしと云ふ。

輸入の部

品目	一九一六年 自一月至六月 噸	一九一七年 自一月至六月 噸
石炭	八五七、〇一七	七四一、九八八
骸炭	八六、六五二	四四、〇六七
銑鐵	一二、一一三	一一、三一六
鑄物	九八七	九四
軌條、鐵條、鐵板其他	七、八三三	四、四七八
鐵力板	五、一二五	五八
錫(インゴット及加工物)	七五二	六六〇

輸出の部

品目	一九一六年 自一月至六月 噸	一九一七年 自一月至六月 噸
銑鐵	一三、三七七	二一、九六九
加工鐵類	二六、八七二	二五、六〇二
鐵鑄	二、三八六、四三九	二、五八八、七一〇
滿俺	二、三一〇	八、五二七
銅	一三、七三五	一四、三三三
銅鑄	二六、八七二	二五、六〇二
亞鉛	二、七二五	二、七六三
亞鉛	五七、一七一	二三、五五二
鉛	九三、六〇七	七六、四一三
鉛鑄	一、一九二	一〇一
黃鐵	一、五四三、三四〇	一、〇一四、六三六

□露國鐵鋼産出高(一九一六年)

最近發表の同國公報によれば一九一六年に於ける半成鐵及鋼の産出高は四百二十萬六千四噸なりき。但し一九一五年同上四百五萬一千二百七十九噸、一九一三年四百八十四萬三百五十四噸なりしと云ふ。又一九一六年に於ける精成鐵及鋼の産出は三百三十一萬八千八百九十七噸にして一九一五年同上三百二十一萬五千二百五十六噸一九一三年同上

三百九十七萬四千九百一噸なりしと云ふ。而して最近二年間に於ける産出の地方別は左記の通りなり。

地方名	一九一六年(噸)	一九一五年(噸)
南部露西亞	二、一〇〇、七八七	二、〇二六、七七二
ウラル地方	六六〇、八二七	六四八、〇三二
モスコウ地方	一七七、四六一	一八〇、三一五
ボルガ地方	一四六、一六一	一五一、〇八二
北部露西亞及バルチック州地方	二三三、六六一	二〇九、〇五五

一九一六年には展延ジョイストは其産出四十六、一パーセント、軌條三十四パーセント、屋根鉄四十三、九パーセント減少せり。同年に於ける製造従業人員は二十四、三パーセント増加せしにも拘らず製造高は僅に三三、パーセントを増せしに過す、之れ畢竟一人に對する製造能力の減せしに起因するものにして大に考慮を要する問題なりとす。

□瑞典國に於ける鋼及鐵産出、輸出入

一九一六年度に對する同國商業會議所の年表に従へば同國鋼鐵業の狀態は同年に於ては甚だ順調なりし事を暗示せり、一九一六年中積出鐵鋼總重量を五六〇、〇〇〇佛噸にして、一九一五年中同上の五八八、九〇〇噸と略同量にして主たる積荷先は英國佛國獨國及伊國なりしと云ふ。露國及フィンランドへの輸出は多少の増加を見たり。丁抹及諾威へも猶ほ多少の輸入ありたり。一九一六年中の鐵鑛の輸出は五、三三九、〇〇〇佛噸にして、一九一五年五、九九四、〇〇〇佛噸一九一三年六、四四〇、〇〇〇佛噸なりしと云ふ。

銑鐵の産出は幾分減少を示し總計七三七、三〇〇佛噸にして一九一五年の夫れより約三〇、三〇〇佛噸の差を見たりとも最近十ヶ間の平均産出高六四三、七〇〇佛噸に比すれば猶樂觀して可なりと云ふ。

ベセマー法による鋼の産出は一五、〇〇〇佛噸の減少なれども平爐法によるものに於ては二五、〇〇〇佛噸の増加を見たり、鐵及鋼の輸入に至りては前年度の二三〇、〇〇〇佛噸に比し二八、〇〇〇佛噸を増加せりと雖も最近五ヶ年間の平均輸入高より一七、〇〇〇佛噸を超過せすと云ふ。

●輸出入貨物品別表(大藏省發行の大正六年八月外國貿易月)
 (表中鐵及鋼に關するもの左表の如し)

第一 輸出貨物品別表

内國產品	大正六年八月		大正六年累計		大正五年八月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵塊及錠(斤)	二五九、八一六	五八、〇二三	二、三四一、四九八	一八七、七五三		
鐵條及竿板(斤)	一、七九九、六八九	三五三、四一五	一五、二七五、五九三	二、二三三、二九七		
線索(斤)	一、二八〇、三六四	四三八、三三六	七、三九五、三七七	二、三四六、七四〇		
筒及管(斤)	一、八五五、〇三四	一九八、一九三	一〇、〇一二、六五三	一、三三四、七七七	三、四三〇、二七三	四三三、五九八
鐵鍋及鐵釜		二、六三九		一八四、三三〇		一七六、六六八
鐵製品		一、一四八、一六三		九、八九七、六一一		五、四七三、九五九
人力車(輛)	一八五	一一、四七〇	五、三三〇	二〇九、五一四	四、七五七	一七九、九四六
船舶(汽船)	三	五、二九二、九二	六六	五七、一五三、六六〇	一九	一、〇〇六、〇九〇
機械同部分品及附屬品		四〇九、〇八一		三、四三四、七四七		二、五六三、九八八
石炭(噸)	一八〇、五六七	一、七五一、八一四	一八四七、九七四	一六、二五七、四三五	二、一〇六、四三八	一四、一四一、八〇三
コークス	二九五	九、八七〇	一、九九六	四八、〇六九	二、六四六	五〇、八二四

第二 輸入貨物品別表

外國產品	大正六年八月		大正六年累計		大正五年八月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵鑛(擔)	八九四、六七三	四四六、三八九	三、〇九九、七二三	一、三三五、三二一	二、七五八、六〇〇	九九九、三〇七

銑 及 塊 鐵						銑 鐵 (斤)					
スビーゲルアイゼン (斤)						四三、三七八、七五六	二、五五四、三〇三	二二八、一八、五五七	一二、三四六、六六六	一、二五六、〇〇七、八〇五	九、〇〇八、一五四
フエロマンガニース (斤)								五二九、八八六	四一、一六六	一、二三八、〇四〇	六八、七〇三
フエロシリコン及シリ								六六五、九二〇	一一九、二八〇	二、七三二、二六八	三七六、一八六
コスビーゲルアイゼン (斤)								六八九、九三八	一四一、二六二	二、四九〇、〇八一	三三八、七五〇
フエロクロム其						四、一五六	四、二三八	八〇五、二四二	二四八、五一九	一八七、三八三	五四、一〇七
他不可鍛性鐵合金 (斤)								二、三六六、九五二	三三七、二九〇	八、二〇〇、四九二	一、〇三三、〇八三
インゴット及ズラプ (斤)						三八六、九九七	五九、一七八			四五〇、四五七	五二、四四七
ケツグ及バンブースチル (斤)											
條竿、テールアンゲル形鐵類 (斤)						二一、三八二、三七六	三、三四、〇〇六	二〇三、三〇六、二七九	二、三五七、一一四	一四八、二九七、〇〇〇	一三、〇四七、八五二
ワイヤ ロッド (斤)						三、〇五九、〇八四	四五三、五七四	一八、六一八、七九一	二、六五八、六〇七	一七、七三三、九五三	二、一七六、六四三
板 (金屬を鍍せざる) (斤)						五三、九九一、一〇七	九、三一八、四五六	二九〇、二〇二、二四九	四一、一七〇、〇九三	一七三、八五四、四三二	一三、四五六、九四九
板 (電鍍したる) (斤)						九六四、七三五	二〇六、九六一	六、二七三、〇八四	一、二〇三、三三五	六、八六五、一九四	九七〇、九二七
板 (葉鐵葉鋼其他) (斤)						四、五五六、四五四	一、一七三、三三三	三二、七六六、七七四	七、一二九、二九六	四七、四一七、一二七	七、〇四五、三八七
線 (金屬を鍍せざる) (斤)						四七八、一九七	九六、八五三	五、二九〇、六二二	八九二、一四三	三、三七二、二二四	三九〇、一〇八
線 (電鍍したる) (斤)						二、二九一、〇三八	四六三、八四八	二二、四〇八、二八七	三、九一二、九三九	二一、六二二、二一八	二、九二一、五四六
屑鐵 及 故鐵 (斤)						一〇、四四一、〇一八	六三一、一七九	八三、九四二、七七四	三、五七四、六二六	二八、六二五、七六一	九二九、四〇四
線 索 及 撚 合 線 (斤)						四九六、一一	九、八八一	四四〇、二六三	一一五、六二〇	五〇九、二二〇	一一七、九一〇
筒 及 管 (斤)						一、九三七、六七二	三八七、九三二	二三、四三三、三八〇	三、二六三、三五二	一九、一九六、四七一	二、一四七、四三六
帶 及 箍 (斤)						八三〇、二四八	一七七、〇九五	三、八〇七、三七七	五八三、三六三	三、七二七、四七五	四三、〇九六
釘 類 (斤)						一五二、一三七	三三三、一八〇	一一、一九一、八八三	一、九九〇、八九三	二九、〇九〇、〇三七	三、三四〇、〇一一

外國產品	大正六年八月		大正六年累計		大正五年八月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵道建設材料(其の他)	一一、〇八四、四三四	一、三三〇、八〇〇	四五、四八七、六五四	四、四八六、五六五	二、〇三〇、一九三	一七五、八一七
電線支柱及同支架用材料	一三	八	二、九〇五	一、九八〇	三九、二六八	四、〇九六
家屋橋梁船舶等建設材料	三七七、九八七	八〇、六二八	一一、二三、五二五	二、三三、二四	一、六二七、〇三九	二四四、九七三
鐵道車輛及同部分品		二八、六四一		六九、一七八		一五九、八九九
自動車及同部分品	一二九	三六〇、二〇四	四七三	一、三七〇、三九五	一二七	三九四、〇四三
自轉車及同部分品	六五	八九、九三四	四九六	四五、一二〇	九九〇	三二四、六三〇
汽船(船齡十年以下)(隻)			一	一五〇、〇〇〇	一	六〇〇
同(其他)(隻)			三	二、一六四、六〇五	一一	二、三六、七二六
汽罐同部分品及附屬品		三八六、三一五		一、一九四、〇八八		六八三、三〇九
フューエルエコノマイザー(斤)			一、四三八、五七九	一六九、三八二	五九三、六九三	六〇、三三〇
蒸氣機關	九、二二二	三、八三三	六二六、四九七	二五七、八四一	一六三、八一三	六五、六五五
瓦斯、石油、熱氣機關	二六、三五九	五五、八五八	一三七、九六九	一七八、三七三	二七四、三五〇	一二五、二七二
ウオータータービン及ベルトン水車	七三、〇三三	三、八六五	二九二、九六三	一六六、五八〇	二四八、五二〇	一一五、二〇五
發電機電動機類	九四、七八七	七、一三五	九三五、三六八	七〇八、〇八三	三三五、九三六	一九二、六七二
縫衣機	九〇、一九三	七、七六八	五七八、八七五	四五八、〇八二	三二九、三九八	三四七、八八六
金屬工及木工機械	四七五、七七三	二、三六、九三三	三、一七四、四六〇	一、八九六、〇八二	一、八五四、一一九	九六五、五五三
紡績機	一、五七九、六七七	四九五、五三六	九、七五九、〇〇三	三、一四三、〇八七	三、五二七、三三六	一、〇二七、四八四
石炭(噸)	七三、二二七	九四九、三三九	四四六、一二六	四七三、五八〇	三六四、八二九	二、七二二、六五七
コークス(噸)	九七七五	三〇七、三八八	二七、八五六	八〇九、八六五	一七	三八三

●大正六年八月中本邦鐵及重要金屬並石炭產額表（農商務省鑛山局調）

鐵の產出狀況

鑛山名 所在地

大正六年八月

大正五年八月

釜石 岩手(銑鋼)

四、七六六
一、四五三

三、四九二
一、四一七

仙人 同(銑)

三四五

二九三

栗木 同(銑)

一九〇

二六七

重要金屬の產出狀況

重要金屬の名

大正六年八月

大正五年八月

金

一四四、三二五

一四一、二五八

銀

四、二三五、三九六

三、三六九、三五一

銅

一〇、九五六、一三五

一一、三六四、二二四

石炭の產出狀況

鑛山名 所在地

大正六年八月

大正五年八月

夕張 石狩

九二、四〇四

七〇、六四三

真谷地 同

一一、四〇四

一〇、〇一五

新夕張 同

二〇、三〇五

一七、九二〇

空知 同

二四、九六一

一六、一八二

幾春別 同

一六、三三三

一四、九六四

幌內 同

一三、三三七

八、五八〇

奔別 同

一〇、一二五

八、七八〇

三井登川 同

二七、八一七

一七、七八六

大夕張 同

二五、二二六

一八、九二八

三菱美唄 同

一八、九二八

一八、九二八

入山 福島

一八、九二八

一八、九二八

統計

小野田	同	一九、三三六	一八、五八六
内郷	同	三三、〇一五	
王城	同		
好間	同	三二、五一八	二二、三一七
隅田川	同		
平	同		
茨城無煙	茨城	一二、七三三	一一、二三一
重内	同		
山口無煙	山口		
茨城	茨城	一六、八九一	一一、〇一八
千代田	同		
松浦	長崎		
高島	同	一八、〇九〇	一六、五七三
松島	同	三一、三九九	一九、〇四九
崎戸	同	二六、二〇一	二五、一七〇
香焼	同		
福島	同		
沖ノ山	山口	二四、六三八	二一、一一七
大嶺海軍	同		
東見初	同	二五、〇二二	九、九九一
大辻	同	二六、一六八	二一、二〇六
高江	同	一二、〇〇一	一〇、四四九
新海軍	同		
新海軍	同	二五、三八三	二三、八六八
岩崎	同		

鐵と鋼		第參年 第拾壹號	
御德	同	七、六二九	八、〇二二
新入	同	二八、四九〇	二六、八一四
三好	同	六、七五四	七、〇七八
大之浦	同	七二、一八六	六四、七六八
明治	同	三五、六八九	四〇、四七一
三井本洞	同	一五、八九九	一九、九九〇
鹽頭	同	三九、五五三	三六、〇七四
木屋瀨	同	九、五九五	一一、七六一
金田	同	二〇、五九二	二三、〇八四
大峯	同	二八、四二〇	一八、八八三
赤池	同	一一、二〇七	九、九九四
三井田川	同	六五、〇九八	六七、五八二
峰地	同	三八、七四八	四四、二〇二
豐國	同	三九、八九三	三七、八五七
二瀬	同	四七、〇六〇	五二、二三七
忠隈	同	二七、九四四	二六、〇四五
上山	同	一一、二八四	一三、一九一
鯨田	同	三三、五五三	三〇、六二七
豆田	同	一三、二五四	一〇、九〇一
三井山野	同	二六、六五六	三八、七五一
芳雄	同	二四、七〇〇	一九、七一二
下山	同	一〇、八七九	一一、三〇一
三池	同	一四〇、八二九	一五〇、〇二五
方城	同	一八、八五五	一七、三〇一
中鶴	同	一四、五〇八	一〇、八七二
大隈	同	九、九六九	五、九六〇

一二五八	
高松	同
高田二坑	同
龜山	同
旭	同
三笠	同
泉水	同
平山	同
野田	同
宇美	同
新目	同
姪濱	同
福岡	同
杵島	佐賀
相知	同
芳谷	同
岩屋	同
久原	同
四、七二四	七、五五七
六、三二六	六、八六四
六、五二一	七、四〇一
九、一一二	九、〇九八
五、四一七	五、四四三
六、一六一	五、八一五
八、八三一	八、四八〇
三、一四八	一、九八六
三、二〇五	三、九七八
五、二二八	四、四〇四
一六、一八三	一二、四五二
八、四五四	九、一九二
三九、一七五	三六、二二七
三七、四一四	三〇、〇八〇
三七、一六七	三五、四七九
二〇、一七七	一三、二三五
一、〇五五	三、九〇七